

■□■ ■□■ ■□■  
二国間エネルギー・先端素材分野協力促進のためのカザフ企業連続プレゼンテーション

**第3回「カザフスタンの気候変動対策・  
炭素市場・産業脱炭素化における日本企業との協力可能性」  
開催のご案内**

令和8年7月6日（月）  
（一社）ROTOBO

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

6月に開催致しました第1回、第2回に続き、日本・カザフスタン間のエネルギー・先端素材分野における協力促進を目的とするカザフ企業による連続プレゼンテーションの第3回目を、経済産業省の助成を受け、下記の要領にてオンラインにて開催致します。

第3回では、廃棄物管理や気候変動対策に係る規制等、カザフスタンの環境政策の実施機関の1つである国営企業「ジャシル・ダム」社（カザフ語で「緑の発展」の意）より、カザフスタンの脱炭素政策の概要と現状、また同社が実施機関となっているカザフスタンの排出量取引制度等についてご紹介いただくほか、日本企業との協力が期待される分野やニーズについてもご説明いただきます。

参加をご希望の方は、別紙1のプログラムをご確認のうえ、**7月17日（金）までに**下記参加登録フォームよりお申し込みください。なお、本件についてジャシル・ダム社との個別商談をご希望の場合は、あわせてお申し込みいただけます。

皆様の奮ってのご参加をお待ちしております。

記

- ◆日 時： 令和8年7月21日（火）15:00-16:30 ※カザフスタン現地時間 11:00-12:30
- ◆主 催： （一社）ROTOBO
- ◆内 容： 別紙1参照 / ◆言 語： 日露同時通訳 / ◆参加費： 無料
- ◆会議システム： Zoom
  - ※ ブラウザ上で参加できるため、ソフトのインストールは不要です。申し込み締め切り後、お申込みいただいた方に配信リンクをEメールにてお知らせします。
- ◆お申込み方法および締切：  
**7月17日（金）日本時間12:00まで**に、下記フォームよりお申し込みください。  
※参加登録フォームリンク：<https://jp-kz.org/webinar20260721registration>
- ◆問合せ： （一社）ROTOBO ロシアNIS経済研究所（担当：中馬、斉藤いづみ）  
TEL:03-3551-6218 E-mail: [central-asia@rotobo.or.jp](mailto:central-asia@rotobo.or.jp)



二国間エネルギー・先端素材分野協力促進のためのカザフ企業連続プレゼンテーション  
**第3回「カザフスタンの気候変動対策・炭素市場・産業脱炭素化における  
 日本企業との協力可能性」**

2026年7月6日現在

時間	プログラム
15:00-15:05	<b>■ モデレータ開会挨拶</b> 輪島 実樹 (一社) ROTOBO ロシアNIS経済研究所 副所長兼部長
15:05-15:10	<b>■カザフスタン側代表挨拶「『ジャシル・ダム』社のご紹介および            本日のプレゼンテーションの目的について」</b> ボタゴズ・アフメトヴァ ジャシル・ダム社 マネージング・ディレクター
15:10-15:30	<b>■報告1「NDCから2060年カーボンニュートラル達成戦略に至る            カザフスタンの気候変動政策の歩みと過程で得た教訓」</b> ルスタム・ナシルハン ジャシル・ダム社 モデリング・分析・予測部長
15:30-15:50	<b>■報告2「カザフスタン排出権取引制度の現状と今後の展望：            MRV（測定・報告・検証）・カーボン・レジストリから市場の発展へ」</b> ダニヤル・ジャマロフ ジャシル・ダム社 排出権取引制度部長
15:50-16:10	<b>■報告3「産業脱炭素化計画のパイロット・ストックテイキングと            技術・グリーンファイナンス分野におけるNDCに整合した協カニーズ」</b> ※報告者調整中
16:10-16:30	<b>■ 質疑応答／閉会</b>

■□■ 参考情報 ■□■

◆株式会社「ジャシル・ダム」(Zhasyl Damu JSC)

2012年7月26日付政府決定第978号に基づき、共和国国営企業「カザフスタン環境・気候研究所」を改組する形で設立された環境・天然資源省傘下の国営株式会社で、カザフスタンの環境政策および気候変動政策を担う中核機関の一つ。

2013年1月に開始されたカザフスタン排出量取引制度（KAZ ETS）の実施機関として、カーボン・レジストリおよび予備枠（リザーブ）の管理・運営を担当する。また、カザフスタンの「国家インベントリ年次報告書」を作成する認定機関であり、企業による排出量報告の遵守状況を監督するGHG（温室効果ガス）プログラムの管理者でもある。

リサイクル分野においては、同分野における投資プロジェクトへの優遇融資の提供や国内17か所の有害廃棄物保管・処理施設の管理を行う。また、国民の環境意識向上にも取り組んでおり、環境保護への市民参加を促す大統領主導の「Taza Kazakhstan（クリーン・カザフスタン）」イニシアチブを支援している。